

水痘(みずぼうそう)の予防接種を受けられる方へ

1. 水痘(みずぼうそう)について

水痘は「みずぼうそう」とも呼ばれ、水痘・帯状疱疹ウィルスの感染によって起こる感染症です。空気感染・飛沫感染・接触感染により広がり、その潜伏期間は感染から2週間程度とされています。水痘の主な症状は発疹、発熱です。発疹は紅斑丘疹(赤い発疹)、水疱、膿疱、痂皮(かさぶた)と移行しますが、色々な段階の発疹が混在するのが特徴です。

合併症としては、高熱に伴う熱性けいれん、他に肺炎、気管支炎、肝機能異常を認める場合があります、脳炎や小脳失調など中枢神経系の合併症を併発することもあります。また、かゆみのため水疱部分を引っ掻く等して、細菌の2次感染を起こし、膿痂疹(かさぶたと化膿した水疱が混合している状態)、蜂窩織炎(体の局所が赤く腫れて痛む)、敗血症(細菌が血液中に侵入して起こる全身性感染症)を合併する場合があります。

妊婦の水痘は重症化しやすいといわれていますが、妊娠初期から中期では、胎児に先天性水痘症候群(低出生体重、四肢低形成、皮膚瘢痕、局所的な筋萎縮、脳炎、脈絡網膜炎、小頭症等)、分娩直前・直後では、新生児に重症の水痘発症の可能性があります。成人が罹患すると、小児より重症になります。また初感染後は、ウィルスが脊髄後根神経節に潜伏感染し、加齢や免疫抑制状態などで再活性化し、帯状疱疹を発症する場合があります。

2. 他のワクチンとの接種間隔

厚生労働省はこれまで、異なる種類のワクチンを接種する場合、一定の日数を空ける接種間隔を規定していました。この度、この規定が見直され、注射生ワクチン同士を接種する場合以外は、接種間隔の制限を撤廃することになりました。令和2年10月1日以降適応されます。

一方、同一ワクチンの接種間隔は従来どおりになりますのでご注意ください。

3. 次の方は接種を受けないで下さい

- ① 妊娠している方および妊娠している可能性のある方(接種前1ヶ月間は要避妊)は接種することができません。ワクチン接種後は少なくとも2ヶ月間の避妊が必要です。
- ② ワクチンを受ける3ヶ月以内に輸血やガンマグロブリン製剤の投与を受けたことがある方、また6ヶ月以内にガンマグロブリン製剤の大量療法(200mg/kg以上)を受けたことがある方は、免疫が十分にできませんので、接種を延期する必要があります。接種について主治医とご相談下さい。
- ③ 明らかに発熱している方
- ④ 重い急性疾患にかかっている方
- ⑤ 明らかに免疫機能に異常のある疾患を有する方、免疫抑制をきたす治療を受けている方
- ⑥ 水痘/帯状疱疹ワクチンに含まれる成分によってアナフィラキシーを起こしたことがある方
アナフィラキシー反応とは…急激に起こる「じんましん、口腔や咽頭のアレルギー性腫脹、喘鳴、呼吸障害、血圧低下」等のショック症状
- ⑦ 水痘/帯状疱疹ワクチンを受ける27日以内に他の生ワクチン(注射剤)を接種した方は、免疫が十分にできませんので、接種を延期する必要があります。あらかじめ健康センターへご連絡ください。
- ⑧ その他、予防接種を行うことが不適当な状態にある方
(予診の結果、接種が不適当と考えられる場合は中止することがあります。)

4. 次の方は接種前医師にご相談下さい

- ① 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患、発育障害などの基礎疾患のある方
- ② 予防接種で接種後2日以内に発熱あった方及び全身性発疹などのアレルギーを疑う症状のあった方

- ③ 過去にけいれんの既往のある方
- ④ 過去に免疫不全の診断がなされている方及び近親者に先天性免疫不全症の方がいる方
- ⑤ 水痘ワクチンに含まれる成分に対してアレルギーを起こす恐れのある方

5. 水痘ワクチンの接種スケジュール

1回0.5mlを皮下に注射します。水痘ワクチンを接種することによって90%以上の方が免疫を獲得します。しかし免疫の持続は、免疫の状況や周囲の流行の程度で異なります。

6. 接種後の副反応

接種後30分以内に「ショック、アナフィラキシー（じんましん、口腔や咽頭のアレルギー性腫脹、喘鳴、呼吸障害、血圧低下等）」（0.1%未満）、接種後、数日から3週頃に、紫斑（皮膚や粘膜にできる紫色の斑点）・鼻出血・口腔粘膜の出血等の「血小板減少性紫斑病」（0.1%未満）があらわれることがあります。これらの副反応が出た際は医師にご相談下さい。

その他、接種直後から数日中に発熱・発疹（1%未満）、じんましん・掻痒・紅斑（赤い斑点）等の過敏症があらわれることがあります。接種部位に発赤・腫脹（1～5%未満）、硬結等があらわれることがあります。また接種後1～3週間頃に、発熱・発疹（1～5%未満）、水疱性発疹（1%未満）があらわれることがあります。一過性で通常、数日中に消失します。

水痘に自然感染した人に比べて、同等ないしは低率で帯状疱疹が表れることがあります。

7. 接種後の注意

- ① 接種当日は過激な運動を避け、接種部位を清潔に保ちます。
（入浴は差し支えありませんが、注射部位を強くこすらないようにしましょう。）
- ② 接種後（直後～14日間）は健康状態に留意して下さい。局所の異常反応や異常な症状（高熱、けいれん等）を呈した場合は下記までご連絡下さい。
- ③ 妊娠可能な女性については、接種後2ヶ月間は避妊して下さい。